

# SMBC 日興証券 株式会社

社会学部経営社会学科

3年 豊田 将一

## 1. 実習企業（団体）の概要

1918年7月、川島屋商店として創業、日本有数のネットワークとブランド力を有する総合証券会社。三井住友フィナンシャルグループの中核証券会社として、グローバル且つ激動のマーケットを向き合い、高度化・多様化するニーズに応え、総合力を発揮した質の高い金融サービスを提供している。

- ・創立 2009年6月15日      ・資本金 100億円
- ・従業員数 8,814人（2016年12月31日現在）SMBC日興証券単体
- ・所在地 東京都千代田区丸の内3-3-1
- ・代表取締役社長 清水 喜彦

## 2. 実習内容

- ・金融、経済に関する研修講義    ・日銀見学    ・Bloomberg社見学    ・グループ課題の作成など

## 3. 実習の成果

今回のインターンシップでは普段はあまり読まない日経新聞の読み合わせや、金融、経済やコンプライアンスといった様々な講義によって、今の日本の経済がどのように回っているかなど基本的な事を学ぶことができました。また、証券会社での業務作業の他に日銀見学もできたので銀行業務についても多少知ることができました。他にも普段は絶対には入れないようなBloomberg社といった海外の雰囲気に近い企業も見学することができ、非常によい経験になりました。そして毎日最後の1時間で最初に出された課題をグループで協力しながら作っていき、最終日に発表するといったものもあり、内容としては金融系はもちろんのことオリンピック開催についてや米国大統領がクリントン、トランプになった際のメリット、デメリットなどかなり幅広い範囲のものでした。さらに、実際に最前線で株の取引やその仲介をしている人たちの話を聞くこともでき、普段どのような心境でどういった人に向いているかなどのアドバイスを聞くこともできました。

## 4. 実習の感想

今回のインターンシップでは、朝にまず日経新聞の読み合わせから入り、そのあとに金融講座や企業見学をおこない、最後に最終日に向けての発表をグループで作っていくというような流れで行われていきました。この5日間でたくさんのことを学べましたが、自分が一番学べていると実感できたことは、日経新聞を読んだ後の理解力が初日と最終日と違うことでした。初日はなんとなく読んでいたため、あまり感想を持つことができませんでした。最終日にはきちんと内容を理解しグループでも意見を言い合えるまでになりました。また、金融や経済の講座でも証券会社に限らず、今後社会に出たときに役に立つような情報も多く得ることができたので、大変勉強になりました。さらに、グループ課題でも金融に限らず、オリンピックや米国大統領がクリントン、トランプになった際のメリット、デメリットを考えるなど日本だけでなく普段はあまり関心のない世界の社会情勢についても考えたりするようになり、とてもよい経験をすることができました。今後はこの経験を活かして就活をすすめていけたらなと思っています。

日数	実習日	実習内容
1日目	8月12日(金)	オリエンテーション、日経新聞の読み合わせ、業務説明、Bloomberg社見学、グループ課題
2日目	8月15日(月)	日経新聞の読み合わせ、金融研修、コンプライアンスについて、日銀見学、グループ課題
3日目	8月16日(火)	日経新聞の読み合わせ、金融研修、NISAについて、グループ課題
4日目	8月17日(水)	日経新聞の読み合わせ、金融研修、新丸ビル見学、グループ課題
5日目	8月18日(木)	日経新聞の読み合わせ、グループ課題発表、先輩社員懇親会